2026 年 4 月 20 日 Ver.1.0

山口大学医学部附属病院および共同研究機関で診療を受けられる皆様へ

本研究グループでは、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申し出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	原発性肝癌診療の実態と予後の経時的変化に関する多施設共同研究			
② 実施予定期間	実施許可日から 2033 年3月 31 日			
③ 対象患者	山口大学医学部附属病院第一内科および共同研究機関の外来あるいは入院にて、研究対象とする期間に検査・診断・治療が行われた、あるいは行われる肝がん患者さん			
④ 対象期間	1990 年1月1日から 2031 年３月 31 日 追跡期間：2032 年３月 31 日まで			
⑤ 研究機関の名称	別添参照			
⑥ 対象診療科	第一内科			
⑦ 研究責任者	氏名	田邉　規和	所属	検査部
⑧ 使用する情報等	患者さんの背景（性別、年齢、生年月、入院・外来の別、全身状態PS、身長、体重、筋肉量、脂肪量、内臓脂肪・皮下脂肪面積、現病歴、既往歴、内服薬、アレルギー、生活歴、家族歴、前治療歴,）、治療歴、臨床データ（血液検査や画像検査所見、病理組織所見、治療効果）、予後・転帰を収集します。			
⑨ 研究の概要	現在、肝がんの主な原因はウイルス性肝炎から、生活習慣病に伴う脂肪性肝疾患などへと変化しています。また、近年では新しい薬（免疫チェックポイント阻害薬など）が登場し、治療の選択肢が大きく広がっています。しかし、こうした変化が実際の診療現場や治療の成果にどのような影響を与えているかは、まだ十分に詳しく分かっていません。 そこで本研究では、山口大学および共同研究機関において、過去から現在までに肝がんの診断や治療を受けられた患者さんの診療情報（血液検査、画像検査、治療内容、その後の経過など）を、個人が特定されない形で収集し解析を行います。 これにより、最新の診断・治療法がどのように役立っているかという現状を把握し、患者さんお一人おひとりに合わせた、より良い治療の進歩や課題の解決に役立てることを目的としています。			

	共同研究機関の臨床情報は山口大学医学部附属病院第一内科にemailにてパスワードを付けてアクセスを制限したエクセルファイルで送付いただき、得られた情報は特定の個人が識別できないように加工して使用します。			
⑩ 実施許可	実施許可日	2026 年 11 月 5 日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	研究グループに帰属します。			
⑮ 研究の資金源	山口大学医学部附属病院第一内科の研究費（奨学寄付金）を用います。			
⑯ 利益相反	本研究の計画・実施・報告において、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益の衝突」は存在しません。また、研究の実施が患者さんの権利・利益を損ねることはありません。			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院　検査部　　田邉　規和			
	電話	0836-22-2241	FAX	0836-22-2240

2026 年 4 月 20 日 Ver.1.0

別添

研究代表者

田邉　規和　　山口大学医学部附属病院　検査部　助教

共同研究機関と研究責任者

山口大学医学部附属病院　田邉　規和
小倉記念病院　白井　保之
下関医療センター　仁志　麻衣子
済生会下関総合病院　花園　忠相
山口労災病院　浦田　洋平
宇部中央病院　前田　雅喜
済生会山口総合病院　日髙　勲
山口県立総合医療センター　大野　高嗣
徳山中央病院　白築　祥吾
周東総合病院　松浦　桂司